フリークライマー

小林 由佳さん

（東海村出身）

2017年東海村文化・スポーツ特別賞受賞
2018年東海村シティプロモーション
「東海村を愛する研究所」特命研究員（PR大使）就任

2020年東京オリンピックで新種目となるスポーツクライミング。その魅力を伝えるために、３月17日に総合体育館で「東海村クライミングフェスティバル2018 ～小林由佳トーク＆パフォーマンス～」が開催され、多くの方がスポーツクライミングに親しみました。今回は、日本を代表するクライマーとして世界の舞台で活躍し、茨城国体でも健闘が期待される小林由佳さんを特集します。

7歳から始めたクライミング

小林由佳さんは、小学2年生のときに父親の影響でクライミングを始めました。小さい岩を登った時に感じた純粋な楽しさが、今でも忘れられないそうです。

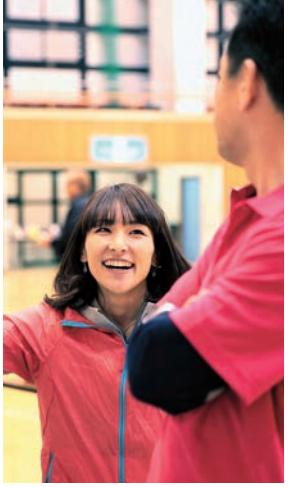
クライマーとして世界で活躍

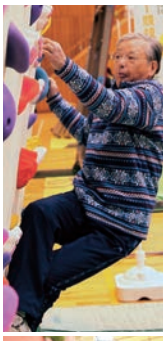
13歳のときに国内最高峰のジャパンツアー第1戦で史上最年少優勝を果たし、4年間で18戦無敗という快挙も成し遂げました。16歳でワールドカップに参戦以降、12年間に渡り日本を代表するクライマーとして世界を舞台に活躍してきました。

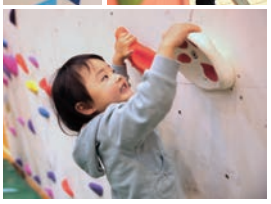
東海村文化・スポーツ特別賞を受賞

平成28年岩手国体の山岳競技では「リード」、「ボルダリング」の両種目共に優勝を果たすなど、これまでの活躍から翌年に東海村文化・スポーツ特別賞を受賞しました。

現在はフリークライマーとして活動する傍ら、日本代表チームのコーチとして後進の育成にも力を入れています。







登ることの楽しさを体験してほしい

小林さんにクライミングの魅力や今後の目標などについて話を伺いました。

クライミングの魅力とは？

小さい子どもから高齢の方までが一緒に、生涯スポーツとしても楽しめます。力だけでなく、バランスや柔軟性も試され、対決というよりも自分で考えながら登っていくことの楽しさがスポーツクライミングの魅力です。

子どもたちへメッセージ！

世の中にはさまざまなスポーツがありますが、「登る」というのはスポーツクライミングだけではないでしょうか。子どもたちには競技としてだけでなく、木登り感覚で楽しんでほしいですね。

これまで村内では体験できませんでしたが、今回のようにたくさんの人に体験してもらい、スポーツクライミングの楽しさを感じてもらいたいです。

今後、村内のどこかにクライミングの壁を常設するなど、気軽に体験できることで、このスポーツを知るきっかけになるといいですね。

今後の目標は？

今年は福井国体、そして来年には茨城国体が開催されます。

それまでにしっかりと準備して、茨城国体では優勝できるように頑張りますので、皆さんの応援をよろしくお願いします。

イベントに参加した村民の声

- 世界で活躍する人が村出身であることが嬉しい。自慢したいですね。
- こうしてプロの方と気軽に触れ合えるイベントがあるといいですね。それが村のスポーツの普及にもつながるのではないでしょうか。
- 子どもの頃に遊んだ木登りを思い出しました。実際にスポーツクライミングを体験してみると楽しいですね。
- 活躍する若い人たちがいることは、同じ村民として誇りに思います。

Profile

小林 由佳（1987年生まれ）

白方小学校、東海中学校、県立水戸第三高等学校、筑波大学大学院卒

【主な経歴】

- ■1998年　ジャパンツアーに参戦
- ■2000年　JOCジュニアオリンピックカップ大会で姉・真秀と史上初姉妹同点優勝
- ■2001年　2001 ～ 2004年にかけて4年連続で年間ランキング1位を達成
- ■2005年　ワールドカップシャモニー大会および上海大会で3位入賞
- ■2006年　ワールドカップスペイン大会5位入賞
- ■2007年　ワールドカップ中国大会3位入賞 世界選手権4位入賞
- ■2013年　リード・ジャパンカップ東京大会優勝
- ■2016年　リードワールドカップイタリア大会7位（日本人で唯一ファイナル進出）
- ■2017年　東海村文化・スポーツ特別賞を受賞
- ■2018年　特命研究員（PR大使）に就任